

# 近世の禁裏と都市空間

岸 泰子 著

▶ A 5判・320頁／定価：本体 6,400円(税別) ISBN978-4-7842-1740-3

2014年3月刊行予定

禁裏が関係する信仰や儀礼の場・空間の特性に注目し、都市を基盤として存在した禁裏、禁裏によって形成・維持された都市、という両側面からなる近世京都の特性を中世・近代への展開も視野に入れて明らかにする。さらに、都市・建築史的観点から近世の天皇・王権のありかたにも注目し、天皇が表出する場の特性や天皇と民衆の関係性などにも言及。都市・建築史学的手法に限定することなく、文献史学や民俗学も視野に入れて近世京都の都市空間の特徴を多角的な視点から包括的に論じた一書。

## 〇〇予定内容目次〇〇

### 序 章 本書の視座と目的

近世の禁裏空間—京都と都市・建築史／近世天皇・朝廷研究史／本書の構成

### 第一部 禁裏と信仰—内侍所・御霊社

#### 第一章 室町後期・戦国期の内侍所

内侍所の概略と先行研究／内侍所の再興／室町・戦国期の内侍所の修理と造営—「仮殿」の成立／内侍所への「参詣」

#### 第二章 近世の内侍所仮殿下賜と

上・下御霊社の社殿拝領について  
近世の内侍所／上御霊社への内侍所仮殿下賜の経緯／朝廷の内侍所仮殿下賜の意義／上・下御霊社の内侍所仮殿拝領の目的

#### 第三章 寛政度内裏以降の内侍所仮殿の

造営・下賜と神嘉殿  
文化七年造営の内侍所仮殿と神嘉殿への転用／天保二年の水無瀬家(宮)への下賜／嘉永五年の土御門家への下賜／安政三年の内侍所仮殿の下賜／慶応元年造営の内侍所仮殿／神嘉殿の造営と内侍所仮殿

### 第二部 禁裏と王権—穢・参詣

第一章 中世後期の天皇崩御と触穢—内侍所の変化を中心に  
中世後期の天皇・印の崩御と葬儀儀礼／葬送・出御の場—先例と触穢／天皇崩御と穢—内侍所のしつらいとその意味／内侍所・触穢・王権

第二章 近世前期の天皇崩御と内侍所—触穢・王権・都市  
近世前期の天皇・院の崩御の概略／内侍所・触穢・王権／内侍所付と町—触穢観念と町社会

第三章 近世禁裏御所と都市社会—内侍所参詣を中心として  
朝儀の拝見と都市社会／禁裏御所における信仰の場

補章1 室町・戦国期における宮中御八講・懺法講の場  
清涼殿における追善仏事／御八講の場／懺法講の場

補章2 近世安楽寿院の鳥羽法皇遠忌法会  
遠忌法会と開帳—宝暦五年六百回忌法会／鳥羽法皇六百回忌法会における勅会再興

### 第三部 禁裏と都市—造営・遷幸・参詣

第一章 承応度・寛文度内裏造営と非蔵人  
—伏見稻荷社目代・非蔵人羽倉延重の活動を中心に  
承応度・寛文度内裏造営／内裏の火災と非蔵人の活動／非蔵人への下賜

第二章 近世京都の都市空間再生と禁裏御所普請  
—三井家と町  
禁裏御所普請と三井家御用の特徴／禁裏御所普請御用と「特典」／禁裏御所普請と町・町人と「人気」

第三章 安政度内裏遷幸と都市空間  
安政度内裏造営と遷幸の概要／遷幸の空間の特性／遷幸の目的と背景

第四章 近世前期の上・下御霊祭礼行列と天皇  
—風流見物を中心に  
上・下御霊社の神幸・還幸／築地之内での上・下御霊社風流の見物とその中止／仙洞御所における零元院の下御霊社祭礼御拜／上御霊社祭礼行列と東山天皇の見物／上御霊社の風流と見物の中止／院・天皇の御拜・見物をともなう上・下御霊社祭礼の特徴とその意味

結 章 課題と展望  
中世後期から近世前期の内侍所—禁裏内の信仰の場の形成／近世中・後期の禁裏と都市空間近世後期の禁裏と都市空間

あとがき／索引

きし・やすこ…1975年生。京都大学大学院工学研究科生活空間学専攻博士後期課程研究指導認定退学、博士(工学)。現在、九州大学大学院芸術工学研究院 准教授。

## 思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-751-1781 fax.075-752-0723  
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	近世の禁裏と都市空間		本体6,400円(税別) ISBN978-4-7842-1740-3	
お名前	tel				
	e-mail				
ご住所	〒		書店番線印		
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代 引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				

本書HPのQRコード

書店番線印

**近世妙心寺建築の研究**

平井俊行著

京都府教育庁文化財保護課の修理技術者として、妙心寺建築物の保存修理に携わるなかで積みかさねてきた研究をまとめた一書。臨濟宗妙心寺派本山の個々の建築について、本山や塔頭に残る中世～近世の古文書や棟札の解説、実測のみならず、それぞれの建造物の行事での利用状況まで分析し、近世妙心寺建築成立の意義を検討する。

▶B5判・376頁／本体9,500円(税別) ISBN978-4-7842-1689-5

**中世京都の空間構造と礼節体系**

桃崎有一郎著

貴人と牛車ですれ違う場合の正しい作法は？参内するときはどこで牛車を降りればよいのか？中世の京都で実践された礼節体系の考察を通じて、中世京都の空間構造を明らかにし、室町殿権力の形成・展開過程をも論ずる。

▶A5判・584頁／本体7,200円(税別) ISBN978-4-7842-1502-7

**\*日本中世の地域と社会**

三浦圭一著

地域史・技術史・流通史に先駆的な業績を残した著者が「地域史をどう書くか」ということではなくて地域社会の中から歴史をどう描くかを課題として、中世後期の地域社会における民衆生活の全体像を、支配関係・村落共同体・差別構造・技術・信仰などから重層的に明かそうとした珠玉の論集。

▶A5判・496頁／本体8,800円(税別) ISBN4-7842-0755-4

**\*中世後期の寺社と経済**

鍛代敏雄著

中世後期から近世への移行期に、政治的・経済的に大きな力を持った石清水八幡宮と本願寺教団を主な対象とし、両者の比較も行いつつ、従来、寺領・社領を中心に論じられてきた寺社と経済をめぐる問題に商業史・交通史・都市史の視角から迫り、中世後期の社会経済の変革の実態を具体的に描き出す。

▶A5判・404頁／本体8,000円(税別) ISBN4-7842-1020-2

**近世京都の都市と民衆**

鎌田道隆著

思文閣学叢書

著者が京都市史編さん所時代におこなった京都市内全域の旧家・会所・小社寺などの民間史料調査をもとに、戦国から幕末維新までの京都市論を展開する。【内容】戦国期における市民的自治について／京都改造／初期幕政における京都と江戸／慶長・元和期における政治と民衆／町の成立と町規制／京都における十人組・五人組の再検討 他

▶A5判・390頁／本体7,800円(税別) ISBN4-7842-1034-2

**大坂城と城下町**

渡辺武館長退職記念論集刊行会編

前大坂城天守閣館長渡辺武氏の退職を記念した22名による論文集。豊臣大坂城時代はもちろん、難波宮、大坂(石山)本願寺から現代にいたるまで、多彩な視角から大坂城と都市大阪を考察する。

【内容】秀吉の大坂城拡張工事について／考古学から見た船場の成立と展開／難波京一瀬戸内と京のはじまり 他

▶A5判・436頁／本体8,800円(税別) ISBN4-7842-1062-8

**みやこの近代**

丸山宏・伊従勉・高木博志編

研究分野の相違を問わず、また、時流の政治や論調に動ずることなく、「近代の歴史都市としての京都」についての基本的な諸問題を多角的に論じようと開かれた京都大学人文科学研究所「近代京都研究会」。そこで論じられたさまざまな分野の具体的な主題をもとに、近代現代の京都の根本問題を見通す視座を形成しようとする試みの85篇。

▶A5判・268頁／本体2,600円(税別) ISBN978-4-7842-1378-8

**近代日本公園史の研究**

丸山宏著

近代欧米都市起源の公園が、いかに近代化の装置として導入され、衛生問題、都市問題、記念事業、経済振興策、政治的役割などさまざまな問題を孕みながら受容されてきたか、その歩みを社会史のダイナミズムのなかにとらえた一書。

▶A5判・400頁／本体8,400円(税別) ISBN4-7842-0865-8

**京都中世都市史研究**

高橋康夫著

思文閣学叢書

中世京都の都市空間形成過程における種々の問題を、辻子の発生と展開、平安京北辺・後小松院仙洞御所跡敷地・土御門四丁町等の再開発、あるいは六町の成立と構造などの検討を通してさぐり、今日の歴史的都市の保全修景計画をも射程に入れて中世都市像を追究した、気鋭の建築史家ならではの一書。巻末に人名・事項索引を付す。

▶A5判・540頁／本体8,800円(税別) ISBN4-7842-0318-4

**後鳥羽院政の展開と儀礼**

谷昇著

後鳥羽天皇(上皇)が課せられた政治課題とそれに対する対応=政策理念が、官中の儀式・行事である公事と修法・寺社参詣参籠等宗教儀礼の中に具現しているとする視点から、それらが果たした政治的役割を個別具体的に検証することにより、多面的な視点に立った後鳥羽理解、政治史叙述を企図したものである。

▶A5判・328頁／本体6,300円(税別) ISBN978-4-7842-1536-2

**\*中世都市共同体の研究**

小西瑞恵著

思文閣学叢書

陸路水路の要衝大山崎を分析し、国家権力と密接な関係をもつ商業的共同体という観点から論じた大山崎研究をはじめ、古代からの港湾都市である堺都市論、自治都市としての成立過程と内部構造について公界と会合に着目し新たな都市像を示した大湊研究、さらに戦後の中世史を代表する都市論への見解をあきらかにした論考を収める。

▶A5判・340頁／本体6,400円(税別) ISBN4-7842-1026-1

**\*京都の都市共同体と権力**

仁木宏著

思文閣学叢書

中世京都の都市構造モデルを前提に、その変容のなかから町(ちょう)の成立を読み解く。自力救済社会における武家と都市民の対峙が、やがて公儀を創出し、都市共同体を確立させることを明らかにする。中近世移行期における自治、共同体、権力の葛藤を正面から見すえ、都市の本質を具体的に、理論的に分析した一書。

▶A5判・332頁／本体6,300円(税別) ISBN978-4-7842-1518-8

**近世都市和歌山の研究**

三尾功著

御三家紀州徳川家の城下町として発展した近世都市和歌山の城下の変遷を、長年和歌山市史編纂に携わってきた著者が豊富な史料に基づき考証する。【内容】創建和歌山城について／和歌山城の構造／和歌山城再建工事について／城下町和歌山の成立と拡大／町割にみる都市計画／武家町と町人町について／和歌山城下絵図考 他

▶A5判・376頁／本体7,000円(税別) ISBN4-7842-0825-9

**\*京の鴨川と橋 その歴史と生活**

門脇禎二・朝尾直弘編

歴史都市京都のシンボルの存在である鴨川とそこに架かる橋について、平安京以前から昭和まで、各時代の様子を具体的に明らかにし、人々の暮らしの中でどのような意味を持っていたかを探る。

【内容】賀茂川と平安京／橋と寺社・関所の修造事業／四条・五条の橋筋進と一条戻橋の橋寺／公儀橋から町衆の橋まで 他

▶A5判・250頁／本体2,200円(税別) ISBN4-7842-1082-2

**\*近代京都研究**

丸山宏・伊従勉・高木博志編

歴史都市・京都は、近代に大きく変わったまちであった一。近代の京都には研究対象になる豊富な素材が無尽蔵にある。本書は、京都という都市をどのように相対化できるのか、普遍性と特殊性を射程に入れながら、近代史を中心に分野を超えた研究者たちが多数参加し切磋琢磨した京都大学人文科学研究所・共同研究「近代京都研究」の成果。

▶A5判・628頁／本体9,000円(税別) ISBN978-4-7842-1413-6

**\*建築史論聚**

中村昌生先生喜寿記念刊行会編

日本建築の歴史の伝統を深く把握してこそ、新しい時代の建築を創造できるとした建築史学の泰斗・中村昌生氏(京都工芸繊維大学名誉教授)の喜寿を記念し、薫陶を受け研鑽を重ねてきた研究者たちがオリジナル論文を持ち寄る。寺社建築／茶室／建築生産史・都市史／近代建築についての15篇。

▶A5判・590頁／本体9,000円(税別) ISBN4-7842-1202-7

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。  
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。